

和光市勤労青少年ホーム報告会 会議録（要点記録）

- 日 時：令和8年3月26日（木）14：00～15：00
- 場 所：和光市勤労青少年ホーム 2階講習室
- 参加者：利用者 4名
- 事務局：市民環境部長 渡辺、産業支援課長 高橋
産業支援課課長補佐兼勤労青少年ホーム館長 大里、
産業育成支援担当統括主査 白田、産業育成支援担当主事 羽沢

- 1 開 会 …… 大里
- 2 意見交換会終了後の経緯について ……説明 白田
- 3 意見交換会でいただいた主な質問について ……説明 白田
- 4 質疑応答・意見

出席者 意見交換会で出た意見は3つのみということですか。

事務局 資料の2ページ目に掲載した意見も、意見交換会でいただいた意見です。このページに掲載した意見については、担当課所に検討を依頼している状況です。

出席者 現段階で回答が出ていない意見については、いつ回答いただけるのかという予定は立っていますか。

事務局 何らかの形で利用者の皆さまに回答をお知らせしたく考えていますが、それがいつ報告できるかという具体的なスケジュールは立っておりません。

出席者 施設の廃止について、検討段階から市からの報告などがなく、廃止が決定してから急遽知らされたと認識しています。また、地域の方々から親しまれているこの施設を廃止するのはもったいないことだと感じています。市の一方的な決定のみで手続きを進めるのではなく、利用者や地域住民と話し合う機会を設けて、計画を練り直していただきたく思います。

出席者 和光市駅北口に公共公益施設を導入することを検討していると思いますが、その施設の中に地域集会所機能を取り入れることはできないでしょうか。関係課所と検討いただきたく思っています。また、この近辺は避難所がないため、その点も考慮いただきたく感じています。産業支援課だけで検討するのではなく、都市計画の一

部として関係課所と連携して今後検討いただければと思います。

出席者 現状は「勤労青少年ホーム」ではなく地域の集会所として活用されているので、施設の用途を変更して維持することを検討してほしいです。私はこの施設に価値を感じているので、市の独断で一方的に施設の方向性が決まってしまうのはとてももったいないと思います。

出席者 今回の報告会に参加して、正直なんの報告にもなっていないと思いました。満足できるような回答をいただけていないことがとても残念です。私たちは「勤労青少年」ではないので特別団体としてこの施設を利用していますが、私たちのような利用区分の利用者を切り捨てているように受け取れました。

事務局 参加者の皆さまが勤労青少年ホームに愛着を持って利用いただいていることに心より感謝申し上げます。施設の方向性については庁内全体にわたって共有・検討を続けており、また、市の幹部クラスの会議でも同様に検討を行っております。いただいているご意見につきまして、施設の用途を変更することや新倉高齢者福祉センターとの一体的な整備についても議論になりましたが、莫大な修繕費用や周辺への多大な影響を鑑みるとなかなか難しいことです。今後の対応について、短期的に対応できるものと中・長期的に対応できるものと分けられます。十分な回答をできていない点については、申し訳なく思っております。引き続き庁内でも勤労青少年ホームの代替となる方策について検討したく思っております。

出席者 和光市駅北口の再開発により、公共公益施設がつくられる計画があると思いますが、この施設に集会所や交流スペースとしての機能を持たせることができないか、庁内で連携しながら検討していただきたいです。

出席者 市民にとってはそういった市の方針や事業施策について知る機会が少ないと思います。勤労青少年ホームに関するだけでなく、市の施策について、市民や施設利用者と意見を交わす機会を定期的で開催して、きめ細やかに情報提供をすると良いと思います。

事務局 本日いただいたご意見は関係各課と共有します。また、会議録はホームページや勤労青少年ホームの窓口で公開します。

5 閉会